

民団体の会員は、人々の良識の核となって行動するチャンスと思われます。

「紙(神)に見はなされたら ウン(運)は手でつかめ!!」というのだそうで、トイレットペーパーならずとも、我が自然を守る会 紙に見はなされ、この雑誌の発行もおぼつかないのではないかと心配していましたが、会員大石氏の特別のご配慮で紙が手に入りウンを手でつかまなくてもすむことになりました。

住民運動誌は、会員の誰にも……ということとは、主婦にも、学生にも、サラリーマンにも、大学教授にも親しめて、しかも内容の程度の低くないもの……となると、これは編集者として至難の技。しかも、その上、予算がなくて、原稿料がタダで……しかもなるべくたくさんいろいろな年令、職業の人から原稿をいたたくということになる、私ごとときトンカチ頭ではとても手におえるシロモノではないと、先ず最初にシャッポを脱いでしまいました。

マンガセリフ入りコンタールは、テレビのコマーシャルがふんだんに登場。コマージュをうまく利用した子どもたちの大人の考え及ばないユーモアには頭が下りま

す。

滝平二郎氏ほか、お忙しい方々が、自然保護のあり方、及びわれわれの運動をよく理解して下さい、心よく原稿をお引受け下さったことを感謝しております。

この号の感想及びご注意などありましたら、どしどし奥井までお寄せ下さい。

「桜川」第六号

発行日 昭和四十九年三月五日

発行所 土浦の自然を守る会

編集人 奥井 登美子

連絡先 土浦の自然を守る会

飯事務所(土浦市桜町) 電話。0357

印刷所 大石 善 写堂

土浦市荒川沖町

△ 頒価金二百円 V